

**「多様で効率的な働き方を可能とする労働時間制度の活用について
～各労働時間制度の活用実態調査と分析・解説～」**

労働時間制度に関する調査資料を発行

愛知県経営者協会は、このほど「多様で効率的な働き方を可能とする労働時間制度の活用について～各労働時間制度の活用実態調査と分析・解説～」(A4版78ページ)を発行しました。

この冊子は、まず、世界的な景気後退の影響による急激な経営環境の悪化に加え、月間60時間を超える時間外労働手当の割増率を50%以上に引き上げる改正労働基準法の施行を来年に控えるなか、企業の実情にあった労働時間制度を導入し、効率的な業務体制を構築する必要性について述べています。特に、昨年までの好景気の陰で表面化しなかった非効率的な働き方や、環境の変化により現状に合わなくなった働き方がないか検証し、改めて現状に合致した効率的な働き方を模索する取り組みが必要であるとしています。

また、「フレックスタイム制」「事業場外のみなし労働時間制」「変形労働時間制(1ヵ月単位・1年単位)」「裁量労働制(専門業務型・企画業務型)」といった労働時間制度についてそれぞれ解説するとともに、同協会が昨年7～8月に会員企業向けに実施したアンケート調査の結果や、ヒアリング調査による企業事例を掲載しています。

さらに、今後導入企業の増加が考えられる「在宅勤務」「短時間正社員」「時差勤務」についても、それぞれ解説およびアンケート調査結果を掲載しています。

巻末には実務に参考になる資料として「フレックスタイム制に関する労使協定」「1ヵ月単位の変形労働時間制に関する規程」など各労働時間制度に関するモデル規程・協定例を掲載しています。

同協会では、このガイドブックを会員企業へ配布するとともに、希望者には、1部800円（送料別）で販売しております。

問い合わせは、愛知県経営者協会（Tel：052-221-1931）まで。